

# 2023年度 事業報告

放課後等デイサービスわたぼうし

項目	回数・金額
開所日数	245日
登録児童数	32名
延利用数	2016日
平日平均	8.2名
保育料・事業費	22,436,723円
おやつ・教材費	324,800円
レスパイト	19,200円
レスパイトの回数	22回
その他	11,700円
合計	22,792,423円

- ・ 事業収益目標 22,624,000円
- ・ 達成率 100%

#### 収益の背景

- ・ 途中新規利用児童が入った事により、登録児童数が増えている。
- ・ コロナ禍が明けたことで、冬～春にかけて体調不良の児童が増加。

# 2023年度 報告

## 【各曜日での取り組みの明確化と強化】

- ① 個別・集団活動プログラムの充実化
  - ・ 自立、個別課題の設定
  - ・ 集団SSTに加え、個別SSTの実施。
  - ・ 特性に合わせた手順書の用意
  
- ② 職員の、集団に対する支援スキルの向上
  - ・ 職員の他事業所への研修
  - ・ 集団作りの研修に参加。

# 2023年度 報告

## 【新規利用児の獲得】

### ① 新規児童獲得の目標

- ・ 7月1名、2月1名 年度途中の新規利用 計2名

### ② 新規児童の受け入れに当たって

- ・パンフレットの作成、相談員へ配布
- ・兄弟児の利用

# 2024年度 行動計画

放課後等デイサービスわたぼうし

# 2024年度 行動計画

## 達成目標金額

24,400,000円

(月あたり 約204万円)

- ・一日平均8.5人以上の確保が必要となる。

## 2024年度 行動計画

### 2024年度からのわたぼうし

- ・ぐりーんの部活動がわたぼうしと統合  
わたぼうしが、小学生から中高生までの受け入れになった。  
→結果 新規利用児童含め登録児童数が32名から36名に  
増えている。

中高生 土曜日新規希望1名（見学予定）

小学生 新規希望1名（待機）

- ・週5日（不定期週6日）開所 → 週6日（不定期週7日）開所

新規利用児童獲得ではなく、現在登録している児童の安定した  
利用に繋げていく必要がある

## 2024年度 行動計画

### わたぼうしの現在…

4月時点で平均利用人数が7.2名  
学校、学年が変わり、長期的に休む児童が複数人いた。

- ・ 去年度の分析から  
今後体調不良の欠席やご家庭の都合での欠席が増えると予想される
- ・ わたぼうしが楽しくない…と思っている児童もいる



子ども自身にも保護者にも  
「利用したい」「行きたい」と思ってもらえる事業所である必要がある



# 2024年度 行動計画

## 1、ニーズに合わせた活動の設定

### SST→ライフスキルトレーニング

→コミュニケーション、買い物、ネットの使い方、公共交通機関の練習など 日常で必要となるスキルの獲得。キャンプ等の学校行事のイメージが持てる活動。

※小学生月曜、金曜 中高生 家庭菜園部

### 実行機能を伸ばす活動

→自分たちで計画を立て、実施する機会を設定。行き場所だけではなく、スケジュールや必要な持ち物等、実行するために何が必要か考える練習。

※小学生月曜、金曜 中高生 家庭菜園部

### 個々に合わせた支援

→従来の集団的な取組を大事にしながら、個々のスキルアップを図っていく。(PECSなど)

※小学生 中高生

# 2024年度 行動計画

## 1、ニーズに合わせた活動の設定

### ・ 自立課題の時間を設定。

→課題に取り組む時間をスケジュールに組み込む。

小学生は、『はじまりとおわり』の基礎を固める。（宿題の時間にも充てる）

中高生は、就労に向けた個々の作業スキルのアップを図っていく。

### ・ 子ども達が楽しいと思える経験の場を作る

→児童の発信や意思を見逃さず、やってみたい事を一緒に実現する。

友達と一緒に遊ぶ楽しさを得られる活動の提供。

個々の発達段階に合わせた、集団への参加。

子ども達にとって必要な経験の場になると同時に、  
放課後を過ごす子供たちが安心して過ごせる場になるよう  
環境設定をする。

# 2024年度 行動計画

## 1、ニーズに合わせた活動の設定

### ・保護者向け勉強会の実施

→6月に実施予定。

内容はABC分析を含め、検討中。

# 2024年度 行動計画

## 2、支援力の向上と効率化

- ・打ち合わせ、振り返りのやり方を見直し。

  - 必要な情報のみを話し合えるように、視覚化をする。

    - 振り返りをしながら記録を記入し、その日の様子や今後の支援方針を全員で共有できるようにする。

打ち合わせ15分以内。振り返り最大30分以内を目指す

# 2024年度 行動計画

## 2、支援力の向上と効率化

- ・支援力向上を目指した勉強会の実施。

→より、幅広いニーズに対応できるように スタッフが出来る事を増やしていく。


各職員が勉強会（30分程度）を実施し、学んだことを伝える練習もする

# 2024年度 行動計画

## 3、地域との関わりを強化

- ・学校、他事業所等、関係機関との連携を図る。
  - 児童の様子必要に応じて、学校へ訪問したり連絡を取ったりし、様子を伺っていく
  - 他事業所を併用している児童について、支援の共有をする
- ・社会資源の積極的な活用。
  - 活動を通して、外出時のルールや公共交通機関の練習  
地域との関わりを図る





# わたぼうし

放課後等デイサービス

支援プログラム

## 健康生活

ライフスキルの修得、保護者や関係機関と連携した健康と生活の安定につなげる

## 認知・行動

行動アセスメントやABC分析の実施  
個人にあったスケジュールの設定

## 言語・コミュニケーション

1人1人にあったコミュニケーション手段の提案・実施

## 人間関係・社会性

集団活動や外出時のルール等の社会参加につながる活動の実施

## 運動・感覚

体の使い方の上達や体力が向上する活動の実施  
感覚の過敏・鈍感さに対応した環境設定の実施